

## ブラジル オレンジの価格は2024年に史上最高を記録

[Cepea 2025年1月6日](#)

### 生産量が少なく、需要が堅調なため、オレンジの価格は2024年に史上最高を記録

セペア、2025年1月6日 - オレンジの価格は2024年に史上最高を記録した。1箱(40.8kg/箱 以下同じ)の価格は青果物市場で100ブラジルリアル(BRL)を超えた。この高値は、業界の一部からの堅調な需要(オレンジ果汁業者の在庫が少ないため)と、生産量が限られたことによるオレンジ供給の制約によって説明される。

柑橘類地帯(柑橘類ベルト)の天候は、作物の生育期間中に雨が少なく高温であった。価格は柑橘類生産者に良い利益をもたらしたが、生産性の低さはコスト(カンキツグリーンング病のためにすでに高くなっていた)を押し上げた。果実の記録的な価格にもかかわらず、生産量が大幅に減少した地域では利潤が減少する可能性がある。タヒチライムの価格については、前期は低水準で推移し、後半はオフシーズンのため上昇するという典型的な動きであった。

オレンジの供給が限られ、業界からの需要が高かった結果として、実質ベース(IGP-DI(ブラジルの物価指数デフレーター)で調整済み)の価格は記録的な水準で推移した。10月には、業界平均価格が1箱当たり90BRLを超えた。2023/24年度シーズンには取引が通常より早く1月初旬に開始され、1箱当たりの見積価格が約38BRLであったことは注目に値する。この業界では在庫が限られていたためスポット市場の需要が高まり、11月には100BRL/箱を超え、実質ベースで史上最高を記録した。

サンパウロ州とミナスジェライス州のトリアングロ地域では、2024/25年度シーズンに2億2,314万箱のオレンジが収穫される見込みで、これは9月に発表された前回の予測よりも736万箱(+3.4%)多いが、それでも最初の予測(2024年5月)と比較して924万箱(-4%)少ない。したがって、今シーズンは、3億722万箱が収穫された前回(2023/24年度)よりも27.4%少ない可能性がある(Fundecitrus のデータによる)。

悪天候とカンキツグリーンング病のため、2024/25年度の生産量の減少はすでに予想されていた。

現在のシナリオは、ブラジルのオレンジ果汁の在庫が非常に限られているため、世界のオレンジ果汁の供給を保証するためには、翌年産(2025/26年度産)はブラジルと米国フロリダ州の両方で増加する必要があるというものである。

メルコスールと欧州連合との間の協定については、ライム、レモン、オレンジ果汁の輸出に優遇を受けられる可能性が有るが、スペインからこれらの果実を直接受け入れるチャンネルが開かれる可能性もある。それでも、この協定は非常に重要であり、中長期的には良い見通しをもたらすものである。

セペア/Cepea(サンパウロ大学応用経済高等研究センター)